

本市は、令和元年度に策定した「第4次射水市行財政改革大綱」と、その実施計画である「第4次射水市行財政改革集中改革プラン」に基づき、令和元年度から令和5年度までの5年間を計画期間として行財政改革に取り組んでいます。
 計画期間の3年目である令和3年度末の進捗状況は、次のとおりです。

プラン全体の進捗状況

取組の進捗状況

基本方針	完了	順調	概ね順調	遅延	中止・変更
1 協働・共創による質の高い行政経営の推進（28取組）	2	18	8	0	0
2 効率的・戦略的な財政運営（47取組）	5	24	17	1	0
3 職員と組織の質の向上（8取組）	0	3	5	0	0
計83取組	7	45	30	1	0

【凡例】

- 完了 : 計画期間中の取組が完了したもの
- 順調 : 計画どおりに進捗しているもの
- 概ね順調 : 概ね計画どおりに進捗しているが、一部で遅れがみられるもの
- 遅延 : 遅れているもの
- 中止・変更 : 検討・協議結果や社会経済情勢の変化等により取組を中止又は取組内容の変更を行ったもの

取組による効果額

年度	収支改善額		計	土地売却収入	企業版ふるさと納税寄附額	市債繰上償還による 利子負担軽減額
	(経費の削減)	(独自財源の確保)				
令和元年度	42,343千円	13,789千円	56,132千円	97,237千円	2,000千円	2,490千円
令和2年度	45,646千円	14,962千円	60,608千円	0千円	18,000千円	0千円
令和3年度	31,993千円	8,179千円	40,172千円	262,974千円	65,700千円	0千円

収支改善額は、当該年度の取組によって、翌年度の予算に反映した効果額

土地売却収入、企業版ふるさと納税寄附額及び利子負担軽減額は、当該年度の実績額

基本方針 1 協働・共創による質の高い行政経営の推進 に掲げた主な取組の進捗状況

主な取組については、完了した取組や令和3年度改訂版において新規に掲げた取組、収支改善などの効果額があった取組等を抽出しています。

取組項目 市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
1	公民連携の推進 (人事課、資産経営課)	庁舎、小・中学校、保育園など105施設の維持管理及び小修繕を包括的に委託する「公共施設包括管理業務委託」の導入に向け、サウンディング型市場調査及び公募型プロポーザルを実施し、受託事業者を選定した。また、射水市フットボールセンターにネーミングライツを導入した。 【収支改善額（独自財源の確保）：3,850千円（施設命名権 60に含む）】	概ね順調	7

取組項目 ICT（情報通信技術）の有効活用と効果的な市民サービスの提供

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
9	テレワーク制度の導入 (人事課)	令和3年5月から本格実施を開始し、延べ50人の職員がテレワークによる勤務を行った。	完了	12
10	AI-OCRの活用 (人事課、未来創造課)	取扱件数の多い市税口座振替依頼書など5種類の様式について、AI-OCRの実証実験を行い、各様式の正読率の把握や誤読の原因と考えられる改善策を検討した。	順調	12
11	スマート窓口の導入 (行政手続のデジタル化) (未来創造課等)	ワーキンググループを立ち上げ、スマート窓口（書かない窓口、キャッシュレス対応など）についての方向性を示し、具体的な取組内容、導入スケジュールを検討した。	順調	13
13	オープンデータの拡充 (未来創造課)	既に公開している項目のデータを最新のデータに更新した。	概ね順調	14
18	電子入札の導入(総務課)	県市町協議会による公募型プロポーザルを行い、富山県電子入札共同システム導入業者を選定し、契約を締結した。電子入札システム導入に向け、現在、市で運用している契約管理システムの改修を行った。	順調	16
22	ICTを用いた効率的な 工事監理 (建築住宅課)	主にフットボールセンター整備工事において、リモート会議と遠隔臨場の試験運用を行い、問題点の洗い出しを行った。	順調	18

基本方針 1 協働・共創による質の高い行政経営の推進 に掲げた主な取組の進捗状況

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
25	スポーツ施設及び芸術文化施設等における予約管理システムの導入 (生涯学習・スポーツ課等)	予約管理システムを構築し、令和4年3月からスポーツ施設及び芸術文化施設の予約について、従来の方法に加えパソコンやスマートフォン等でのWEB予約が可能となった。	完了	20

基本方針 2 効率的・戦略的な財政運営 に掲げた主な取組の進捗状況

取組項目 事務事業の効率化・適正化

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
29	書面提出・押印・対面主義の見直し (人事課、総務課)	主に国、県等の規定に基づく文書の押印を廃止する規則、要綱等の改正を行い、2,010種類の押印を求めている文書のうち1,763種類の文書の押印を廃止した。 附属機関の会議の開催について、「オンラインを活用した会議」と「書面（持ち回り）会議」についての留意事項を「審議会等の設置・運営ガイドライン」に示した。	完了	23
32	固定資産税賦課事務の効率化・適正化 (課税課)	固定資産税地図情報システムを更新し、本格運用を開始した。	完了	24
40	除雪業務の効率化の推進 (道路課)	県や代表業者に聞き取りを行い、連絡体制や代表業者への費用負担等、県と業者への聞き取りから想定される問題や課題を取りまとめた。	順調	29

基本方針 2 効率的・戦略的な財政運営 に掲げた主な取組の進捗状況

取組項目 公共施設マネジメントの促進と資産・債務の適正化

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
47	クリーンピア射水の長寿命化 （環境課）	基幹的設備改良工事が完了、維持管理費の削減及び環境負荷の低減につなげた。	完了	34
48	小杉ふれあいセンターの廃止（民間事業者による跡地利活用） （地域福祉課）	小杉ふれあいセンター解体工事の完了後、同センターの跡地を社会福祉法人小杉福祉会に売却した。 【土地売払収入：122,400千円（61に含む）】	完了	34
58	地区体育館機能の移行（生涯学習・スポーツ課）	七美体育館の利用状況と施設の状況を確認し、近隣施設の活用について検討を行ったが、令和3年度に廃止することができなかった。	遅延	40

取組項目 自主財源の確保及び創出

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
59	企業版ふるさと納税制度の活用 （政策推進課）	国の「企業版ふるさと納税ポータルサイト」や市ホームページに寄附募集事業を掲載したほか、内閣府の「企業と地方公共団体とのマッチング会」にも参加し、市の取組をPRした。また、首都圏や北陸新幹線沿線の県外企業に向けた企業立地パンフレットの送付（約1,000社）に合わせて、企業版ふるさと納税募集チラシを同封したほか、市内外企業（約1,300社）にダイレクトメールを送付するなど企業版ふるさと納税制度の周知に努めた。 【企業版ふるさと納税寄附額：65,700千円】	順調	41
61	未利用市有地の売却 （資産経営課）	市広報やホームページの活用のほか、宅建協会や全日不動産協会に依頼し、一般競争入札実施の周知を図ったほか、民間事業者とのサウンディングを行うなどし、計11物件の売却につなげた。 【土地売払収入：262,974千円】	順調	42

基本方針 2 効率的・戦略的な財政運営 に掲げた主な取組の進捗状況

取組項目 自主財源の確保及び創出

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
63	多様な納付環境の整備 （収納対策課）	令和2年度に導入した市税スマホ決済（電子マネー）サービスのPRに努めた結果、スマホ決済の取扱件数が、5,469件から13,978件と増加し、市税納付利便性の向上につなげた。	完了	43
64	サテライトオフィス等の設置推進 （商工企業立地課）	令和4年度から適用する射水市サテライトオフィス等開設支援事業補助金制度を創設した。県が主催する誘致プロジェクトに参加し、セミナー参加や県外企業と面談を行った。	順調	43

基本方針 3 職員と組織の質の向上 に掲げた主な取組の進捗状況

取組項目 職員定数及び給与の適正化

	取組名（担当課）	取組状況	進捗状況	報告書の頁
81	職員の定年引上げ制度等の適正運用 （人事課）	国や県からの通知等の情報収集と市が検討すべき内容、課題の整理を行った。	概ね順調	54